

いしおか

# 市議会だより



**一般質問** 19人が登壇  
**議案質疑** 4~10ページ  
10~11ページ

第3回定例会

小学6年生まで  
**学童保育事業が  
拡大されます**

2ページ

第26号

請願・陳情の概要と審査結果 11ページ  
常任委員会の活動 12ページ

ぎかい  
広報紙

平成22年11月15日発行

# 学童保育事業が

## 小学6年生までに拡大されます



議案が提出されました。

### ●学童保育事業条例の改正●

8月から9月にかけて開催されました第3回定例会では、市当局から26議案が提出されました（左ページ参照）。うち、議案第57号「平成21年度石岡市一般会計歳入歳出決算認定」ないし議案第69号「平成21年度石岡市水道事業会計決算認定」の13議案については、集中的に審査を行うため、決算特別委員会に付託することになりました。

この条例改正は、現在、小学3年生までを対象に実施している学童保育事業を、小学6年生まで拡大するものです。今年度は10月から高浜小・三村小・園部小・東成井小の4校で実施し、その他の小学校も順次、実施する予定です。

質疑を通じて、拡大に伴い増員となる指導員の確保について、万全を期して素晴らしい人材の確保に努めるよう、執行部に要望しました。

### ●決算特別委員会●

平成21年度の各会計決算議案について、9月2日～7日の4日間（土日除く）に渡り決算特別委員会を開催しました。

平成21年度決算に係る健全化判断比率、特別会計のうち公営企業会計の資金不足比率について報告があり、当市では、いずれも健全化基準を下回りました。（左ページ参照）

### ●財政健全化判断比率●

今回提出された議案については、本会議や決算特別委員会、各常任委員会の中で、さまざまな角度から議論を行い、すべて原案のとおり可決（認定・承認）しました。

付託された各会計決算議案については、質疑、討論終了後に採決を行い、すべての決算を認定すべきものと決しました。なお、委員会の審査結果については、9月13日の定例会最終日に、決算特別委員長が本会議で報告を行いました。

## \*決算特別委員会での主な質疑\*

### 総務企画委員会

- かしてつ沿線地域公共交通戦略会議負担金
- かしてつバスの利用状況
- 還付未済金の現金での取り扱い
- ホームページのリニューアルに伴う効果
- 洪水ハザードマップ
- 乗合いタクシーの利便性の向上

### 教育福祉委員会

- 保育料等の滞納に対する督促等の対策
- 学区審議会の開催状況
- 公用（スクール）バス購入の経緯
- 成年後見制度利用支援事業による成果
- 生活保護者数とケースワーカーの人数
- 病院群輪番制運営費補助金

### 市民経済委員会

- 市民との協働まちづくり条例策定状況
- 不法投棄対策
- 「つくばね」耐震診断・改修工事
- 観光動態調査の結果と施策への反映
- ごみ収集委託料の積算根拠
- 簡易水道の施設更新事業計画

### 都市建設委員会

- 公園維持管理清掃の状況
- インターチェンジとアクセス道路の整備
- 市営住宅家賃の滞納状況とその対策
- 下水道・農業集落排水事業の接続率
- 賃貸住宅ストック事業
- 狭あい道路拡幅整備促進補助金

### 総括

- 各事業における委託料、補助金の妥当性
- 税金、自主財源の確保
- 各種審議会、委員会委員の報酬と臨時雇人等の賃金
- 市民会館の今後のあり方
- かしてつ沿線地域交通戦略会議の構成委員選出の考え方
- 東地区公民館の借地料
- 斎場建設に関する基本的な考え方
- 地域包括支援センター窓口と職員数
- 国民健康保険の短期保険証、資格証明書発行の考え方
- 柿岡中学校の改築

# 市長提出議案の審査結果

| 第3回 定例会                                        |                                             |      |
|------------------------------------------------|---------------------------------------------|------|
| *第3回定例会（8月24日～9月13日）で審査した市長提出議案の概要と結果は次のとおりです。 |                                             |      |
| 議案第48号                                         | 専決処分に対し承認を求めることについて（平成22年度石岡市一般会計補正予算（第2号）） | 承認   |
| 議案第49号                                         | 平成22年度石岡市一般会計補正予算（第3号）                      | 原案可決 |
| 議案第50号                                         | 平成22年度石岡市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）                | 原案可決 |
| 議案第51号                                         | 平成22年度石岡市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）                | 原案可決 |
| 議案第52号                                         | 平成22年度石岡市下水道事業特別会計補正予算（第1号）                 | 原案可決 |
| 議案第53号                                         | 平成22年度石岡市老人保健特別会計補正予算（第1号）                  | 原案可決 |
| 議案第54号                                         | 平成22年度石岡市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）              | 原案可決 |
| 議案第55号                                         | 平成22年度石岡市介護保険特別会計補正予算（第1号）                  | 原案可決 |
| 議案第56号                                         | 平成22年度石岡市水道事業会計補正予算（第1号）                    | 原案可決 |
| 議案第57号                                         | 平成21年度石岡市一般会計歳入歳出決算認定について                   | 認定   |
| 議案第58号                                         | 平成21年度石岡市授産所特別会計歳入歳出決算認定について                | 認定   |
| 議案第59号                                         | 平成21年度石岡市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について             | 認定   |
| 議案第60号                                         | 平成21年度石岡市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について             | 認定   |
| 議案第61号                                         | 平成21年度石岡市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について              | 認定   |
| 議案第62号                                         | 平成21年度石岡市駐車場特別会計歳入歳出決算認定について                | 認定   |
| 議案第63号                                         | 平成21年度石岡市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について               | 認定   |
| 議案第64号                                         | 平成21年度石岡市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について           | 認定   |
| 議案第65号                                         | 平成21年度石岡市霊園事業特別会計歳入歳出決算認定について               | 認定   |
| 議案第66号                                         | 平成21年度石岡市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について               | 認定   |
| 議案第67号                                         | 平成21年度石岡市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定について           | 認定   |
| 議案第68号                                         | 平成21年度石岡市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について            | 認定   |
| 議案第69号                                         | 平成21年度石岡市水道事業会計決算認定について                     | 認定   |
| 議案第70号                                         | 平成21年度土浦石岡地方社会教育センター一部事務組合歳入歳出決算認定について      | 認定   |
| 議案第71号                                         | 石岡市学童保育事業条例の一部を改正する条例を制定することについて            | 原案可決 |
| 議案第72号                                         | 石岡市火災予防条例の一部を改正する条例を制定することについて              | 原案可決 |
| 議案第73号                                         | 市道の変更にについて                                  | 原案可決 |

## 健全化判断比率

（単位：％）

|                       | 実質赤字比率 | 連結実質赤字比率 | 実質公債費比率 | 将来負担比率 |
|-----------------------|--------|----------|---------|--------|
| 石 岡 市                 | —      | —        | 13.3    | 103.3  |
| 早期健全化基準               | 12.61  | 17.61    | 25.0    | 350.0  |
| 財政再生基準                | 20.00  | 40.00    | 35.0    |        |
| 《参考》市債許可<br>制 移 行 基 準 |        |          | 18.0    |        |

\*実質赤字比率及び連結実質赤字比率は、決算が黒字で値がないため「—」と記載しています。

## 資金不足比率

（単位：％）

| 特別会計の名称   | 資金不足比率 | 経営健全化基準 | 《参考》市債許可制移行基準 |
|-----------|--------|---------|---------------|
| 水 道 事 業   | —      | 20.0    | 10.0          |
| 簡易水道事業    | —      | 20.0    | 10.0          |
| 下 水 道 事 業 | —      | 20.0    | 10.0          |
| 農業集落排水事業  | —      | 20.0    | 10.0          |

\*資金不足比率について、いずれの会計も値がないため「—」と記載しています。

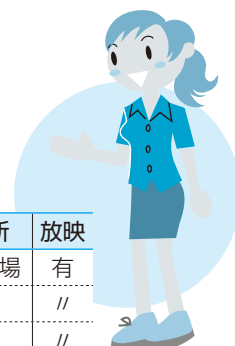
11/30(火)～  
開催

## 第4回 定例会のお知らせ

次回（第4回）定例会は、右記の日程で開催する予定です。ぜひ、傍聴においでください。

なお、表の「放映」欄に「有」と記載されている会議は、本庁舎と総合支所の1階ロビー、及びまちかど情報センターで生中継をご覧いただけます。こちらでもご利用ください。

| 月 日    | 曜 | 主 な 内 容                                      | 場 所  | 放映 |
|--------|---|----------------------------------------------|------|----|
| 11月30日 | 火 | 議案の提案理由説明など                                  | 本会議場 | 有  |
| 12月 6日 | 月 | 一般質問                                         | //   | // |
| 7日     | 火 | 一般質問                                         | //   | // |
| 8日     | 水 | 一般質問                                         | //   | // |
| 9日     | 木 | 議案質疑                                         | //   | // |
| 10日    | 金 | 常任委員会（総務企画・教育福祉・市民経済・都市建設）のいずれか。<br>※告示の際に決定 | 委員会室 | 無  |
| 13日    | 月 |                                              |      |    |
| 14日    | 火 | 議会運営委員会                                      | 全協室  | // |
| 15日    | 水 | 議案の採決など                                      | 本会議場 | 有  |



## 財政健全化について

どう取り組んでいくのか



ひろ ちく なる ます 徳

**問** 財政健全化について「元氣いしおか」の旗印のもとに、市長の政策の実現に向かって各部が取り組む中、選択と集中として事務事業の優先順位付けができていくのか伺います。また、職員アンケートによると、市職員が財政状況の説明を求めているので、財政がどう大変で、どうすれば光が見えるのか、示していただきたい。また、財政健全化の一端として、契約等について、市内業者の育成や税収を考慮し、市内業者に仕事が回るようにならないか、伺います。

**答** 地域主権の方針のもと、総合計画の策定が地域に委ねられる予定であ

ることから、その策定に際し、何をいつまでにどれだけ実施するか具体的に明示する、限られた予算の中で最大の効果を発揮できる事業の選択、あるいは優先順位付けというように、計画と予算と評価が連動した総合計画を作成したいと考えます。職員への説明は、管理職を対象に、市の現状や将来の見通しについての研修を10月に予定し、

他にも新年度予算の説明会などで、当市の財政状況について説明する予定です。入札については、指名業者を選定する基準のうち、事業所の所在地による優先順位の第1番目を市内に本社を有する者とするなど、市内の業者に十分に配慮をしていると考えます。

### その他の質問事項

●道の駅●本庁舎耐震診断結果を受けての対策●事務事業評価と人事評価

## 自然災害に対する石岡市の地域防災計画について



すすむ やま もと 山 本 進

**問** 7月25日のゲリラ豪雨により、本市の自然災害に対する危機管理体制と防災機能についての問題点・課題が見えたかと思えます。石岡地区には、八郷地区に設置されている、市が収集した情報を伝達する手段となる防災行政無線線がある

りません。今回のことを踏まえ、今後の備えとして、ぜひ市内全域に迅速かつ正確な情報通信が可能な防災行政無線システムの導入を検討していただきたい。併せて緊急速報エリアメールの導入について提案します。

このサービスは事前に市が携帯電話会社と契約することで、災害避難情報について、市が発信者となり対応する携帯電話に速報が配信されるものです。また、土砂ハザードマップについて、警戒指定区域、危険箇所の全てに対策工事を施すことは難しいので、まずは想定される被害の程度と避難場所などの情報を明示したハザードマップを作成していただきたいと思いますが、どうお考えか伺います。

**答** 防災無線については、今現在、基礎調査を行っており、その後、整備計画を取りまとめていきたいと思っています。エリアメールについては、緊急時の対応に役立つものと認識しており、検証した上で、取り入れるかどうか判断したいと思っています。ハザードマップについては、今年度は各地区で説明会を開催し、来年、再来年の3年計画での作成を考えています。

## 効率的行政経営への取り組みについて



ひさ べ のぶ 久 部 磯

**問** 財政状況が非常に厳しい中、歳入歳出のバランスを保ち、財政の健全化を推し進めることができるかが重要と考えますが、何事も財源という原資が無ければできません。そこで安定財源確保への具体的な取り組みについて伺います。また歳出について、いろいろな事業の推進、市民ニーズに応えるためと、歳出を基準に予算編成を組む自治体もあるようですが、そのツケは必ず起債という形で後々まで残ります。必要な事業と、先送りしてもいい事業を捉え、歳入と歳出のバランスを考えると、歳出のあり方について伺います。

**答** 安定財源確保として、税収等を確保する努力、ふるさと納税、市が保有する財産の活用、広告事業などに取り組んでおり、また、雇用創出のため、企業誘致推進室を設けています。今後も一層取り組みを強化する必要があると考えます。歳出予算については、厳しい状況の中、今後の財政推計、10年程度のスパンを見据えた財政運営が非常に重要になります。限られた予算の中、選択と集中の徹底が極めて重要であり、今後は、より効率的な事業が優先されると考えます。与えられた財源の中で、しっかりと各事務事業の成果・効果を見極め、幅広い検証をしながら、行政としてできることに最大限の努力をし、健全な財政運営に努めたいと考えます。

### その他の質問事項

●行政改革への取り組み



おかのたかお 野孝男

## 恋瀬地区農業集落排水事業の計画変更について

**問** 恋瀬地区の農業集落排水事業について、21年度には処理場を建設する予定でしたが、工事が突然中断となりました。この理由について。また、いつ工事を再開するのか。あるいは近くに埋設される公共下水道の管渠に接続するのか。その場合、事業が成立するのか伺います。併せて第2期以降予定の大増・太田・小見・中戸地区は、今後どのように進めるのか。農業集落排水事業ができないならば、公共下水道での対応。合併浄化槽での対応を強いるのであれば予算の確保や補助金の上乗せなど、特別な制度を導入すべきと思いますが、どうお考えが伺います。

●その他の質問事項  
児童虐待の防止策

**答** 恋瀬地区の農業集落排水事業について、第1期大塚地区の管渠埋設工事がほぼ完了し、平成21年度から処理場の建設に着手しましたが、平成21年度は要望どおりの補助金がつかず、22年度も補助金の確保が困難なため、やむを得ず工事を中断しています。農業集落排水と下水道の接続は制度的に可能であり、公共下水道への接続については、現在見直しを進めています。2期目以降の地区については、現計画への補助金確保の見直しも立たないことから、合併浄化槽での処理区域として見直しを進めています。合併処理浄化槽に対する予算については、十分に確保できるように努めていきたいと考えます。

## ふるさと納税(寄附)について

増やす工夫をしては



かわむらりょういち 川村良一

**問** ふるさと納税について、これを増やす工夫としてはどうか。ふるさと納税として、他の自治体の方が本市へ寄附をする、寄附に伴う控除は居住する自治体の負担で、本市には寄附額がそのまま入ります。この寄附に対し、本市ではどう感謝の気持ちを表すのか。例えば米などの特産品を、感謝の気持ちとして贈る自治体があります。私は、寄附をしていただいた方には、少額でも1年度ではなく10年とか継続して何かを行ってはどうかと考えます。特産品を贈ったり、

**答** 当市では現在、寄附をしていただいた方々に感謝状を差し上げ、あわせてご本人の承諾があれば、市報にその感謝の旨を掲載しています。この制度が始まる際、さまざまな検討をしましたが、当市では特に品物は設けないということで、今日まで来ています。寄附の特典として、地域の特産品などを用意する自治体があり、それが次の納税につながっている傾向が見受けられます。そのような観点から、石岡市独自の取り組みについて、他市の事例等も十分調査して、検討していきたいと考えます。

●その他の質問事項  
学校給食 ●省エネ問題



ひしぬまかずゆき 菱沼和幸

**問** 茨城郡寺史跡に対する整備計画。さらに、舟塚山古墳をはじめ数多くの文化財等の修復や保護・保存事業への取り組みについて、どうお考えか伺います。これら文化財の保護・保存は、地域住民のご理解・ご協力があつて成り立つことから、茨城廃寺跡周辺地域への説明会の開催について。また、市民参加による散策用文化財ハンドブックの作成、ボランティアによる舟塚山古墳の草刈り等の考えについて伺います。文化財の保護・保存には目に見えないお金がものすごくかかります。協議をして、できるところからしっかりと進めていただきたいと思います。

●その他の質問事項  
防災行政 ●環境配慮契約法 ●地籍調査 ●農作業事故防止

**答** 茨城廃寺跡の保護・保存計画として、今年度中に、地権者の同意をいただいて、特に重要な講堂跡・金堂跡・塔跡の範囲を市指定史跡にしたいと考えます。今後は平成23年度から4年間の発掘調査で、茨城廃寺跡の範囲を確定させ、28年度に範囲全体を追加する予定です。また地区の方々に対して、この大切な史跡の状況等の説明会をしていきたいと思っています。文化財の保護・保存は、石岡市文化財マスタープランの基本方針に基づいて進める考えです。案内板等は、優先順位を定め年次計画を立てて改修し、また、散策用パンフレットの作成や、ボランティアの方々の活用についても検討したいと考えます。

## 茨城郡寺史跡の整備について文化財の保護・保存の取り組みは

## 小中学校の統廃合について

小中一貫校を目指しては



すずき よね ぞう  
鈴 木 米 造

**問** 現在、小中学校の統廃合について大変努力していると思いますが、PTAや地区住民の理解が得られずなかなか進まないようです。そこで、私は建築費の面からも、子どもたちの生活安全面、教育環境面からもメリツトが多いといわれる小中一貫教育の導入への取り組みを進めるべきと考えます。子どもへの教育は石岡市の将来のためでもあり、未来の日本のためでもあります。今が一貫教育に取り組むチャンスです。子どもたちの将来のため、この一貫教育を目指していただきたいと思います。ですが、どのようにお考えか伺います。

●その他の質問事項  
●国民宿舎「つくばね」の管理運営

**答** 小中一貫校の特徴は、9年間同じメンバーで生活するので、子供同士の人間関係が深まる半面、適正規模以下では、人間関係が固定化しやすい。また学校運営面から、教職員が子供の個性や課題について共通理解を図りながら指導できる。しかし、学級数により教職員の配置が限られ、効果的・弾力的な学校経営が難しい、などと言われます。メリツトはいろいろありますが、それを生かすには、小学校12クラス（各学年2クラス）、中学校12クラス（各学年4クラス）程度の適正な学校規模による実施が必要だと思います。当市は、統合によって児童・生徒数の確保を図り、よりよい教育環境を目指しているところ。今後その方針に基づき適正規模確保に努めたいと考えます。



むら かみ やす みち  
村 上 泰 道

## 介護利用料減免制度について

市独自の減免制度の考えは

**問** 介護保険には、利用料の支払いが困難になった場合の減額制度があります。これは施設サービス等を利用する場合に、所得の低い利用者の負担が重くならないように食費・居住費等の利用料が軽減されるものです。そこでこの減額制度の条件と、利用できる対象を伺います。また、地域密着型サービスのうち、介護老人福祉施設は対象となるのに、小規模多機能型居宅介護事業と、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）は対象となりません。減額の対象者は、所

●その他の質問事項  
●人口減少対策  
●教育行政  
●観光行政

得等の要件があり、それほど多くないと思います。特に石岡市で指定を行うこれらの事業に対する、市独自の支援体制の構築について、どうお考えか伺います。

**答** 食費、居住費の減免は、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、短期入所生活介護サービス、地域密着型サービスにおける地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（小規模特別養護老人ホーム）に係る費用で、所得の少ない方です。また、生活保護受給者、及び市民税非課税世帯の方を対象に、自己負担の減額が設けられています。ご提案の地域密着型のうち対象外の事業に対する石岡市独自の減免制度については、国・県の動向を確認しながら、慎重に調査研究をしたいと考えます。

## 道路行政について

維持修繕のための予算の確保を



しま だ さ と こ  
嶋 田 佐 登 子

**問** 市道B117号線（朝日峠）及び市道B106号線（風返峠）の交通安全対策工事の入札について、施工内容、費用等について伺います。また、八郷地区の道路維持修繕工事について、予算が年々カットされ、市民からの要望に答えられない状況です。財政の厳しい中、無理なお願いなのはわかっていますが、現状を十分理解して、プラス方向で考えていただければお願いします。併せて、工事における安全管理について、施工業者が安全管理を徹底するのは当然ですが、発注する担当課は、施工業者に対してどのように管理・指導しているのか伺います。

●その他の質問事項  
●教育行政

**答** 朝日峠の中腹から頂上までの693メートルについて、不評だった横ハンパ舗装3か所の撤去と、縦ハンパ舗装70か所を施工し、全区間が完了しました。事業費が963万9000円です。風返峠は中腹までの500メートルについて、縦ハンパ舗装50か所を施工しました。事業費が462万円、残区間は23年度工事の予定。道路維持修繕費については、状況を見ながら、十分考慮していきたいと考えます。安全管理については、請負業者に対し監督職員が指導を行い、さらに契約金額が500万円を超える場合は施工計画書の提出を義務付け、一般車両と歩行者の安全を第一に、安全管理の体制を徹底するように指導しています。



こまつ みよこ  
小松美代子

問 石岡駅舎と駅周辺整備について、私自身は必要な部分もあると考えますが、駅舎の橋上化はやり過ぎではないかと思えます。駅舎の改築は、ほとんどが自治体の負担で、JRの負担が5%にも満たないものもあります。この計画の概要について伺います。また以前、自由通路にエレベーターを設置する計画がありましたが、市民からは、5年、10年先の石岡駅の利便性ではなく、今すぐエレベーターがほしいとの要望があります。無駄になるかもしれません、この設置も併せてJRへの要望をお願いします。

答 この計画は駅舎の橋上化、自由通路のバリアフリー化により、駅東側からの利便性の向上を図るものです。駅利用者の居住地が東西でほぼ同じことから、同じ条件で利用できることが重要と考えます。駅前広場については、既存の土地では狭いため、橋上化による跡地や北側公園敷地、駅前交番の再配置等により、一般の送迎車両とタクシーの駐車スペースを分離した西側駅前広場に再整備をしたいと考えます。駅舎とその周辺は、いわゆる石岡の顔であり、市民アンケートも第1位と強い要望があります。さらに、観光事業をアピールする上でも重要であることから、整備を進めていきたいと考えます。

## 駅周辺整備と

### 駅橋上化について

#### その他の質問事項

- ヒフワクチン・子宮頸がんワクチン助成
- 子ども・女性議会の開催
- 非核平和都市宣言のまち他



むらやま ゆたか  
村山 裕

問 中心市街地の活性化について、活性化のための市民参加型事業への支援、いわゆる民間の活力を利用する場合、市にはどういった支援があるのか伺います。また、中心市街地の賑わいを創るために、つくばエクスプレスの石岡市までの延伸、

### つくばエクスプレスの延伸は

## 中心市街地活性化について

これをやらない手はないのでは、と考えます。これが、つくばで止まっているのはもったいない。これを石岡の常盤線につなげる、あるいは通過点にするなど、ぜひ元氣いしおか実現のための1つの施策としてお願いします。

答 市の支援策として、商店街振興組合や商店会の団体等が歩行者天国、大売り出しや講演会、イベント等を開催した場合に、1つの事業に対して要する経費の2分の1以内、100万円を限度とした補助を行う石岡市商店街等共同事業奨励補助金がありますので、市民と地域商店街の方々が合意形成し、こういった事業の支援を活用していただければ幸いです。つくばエクスプレスの延伸については、これは石岡市として、近隣市町村も含めて、その誘致活動の声を上げなければ第一歩になりません。そういうことから、近隣市町村とも協議をしながら、それが可能かどうか検討していきたいと考えます。

#### その他の質問事項

- タウンメイト
- 駅前周辺整備



せき たくし  
関 忠男

問 柿岡中学校の校舎改築について、当初の24年度からの計画を、前倒しで23年度から始めることが可能かどうか。また、この改築は、統合を想定した規模の改築なのか、統合が決まったら増築する考えなのかどうか、伺います。有明中は結果としてプレハブ校舎を導入しましたが、場合によっては3年間、生徒がそこで過ごすことになります。この件について、教育委員の方々からどのような意見があるのか伺います。最後に、統合を考えるならば、新たに進入路を整備する必要があると思いますので、この整備について要望します。

答 今年度基本・実施設計、平成23・24年度に校舎及び武道館の建築を行う予定です。この計画の校舎は有明中・柿岡中・八郷南中の3校が統合しても対応できる規模を考えており、統合校として計画を進めています。教育委員の方々からは「中学校だけでなく、統合時の対象となる小学校の保護者への対応を」「統合の必要性や教育上の問題を十分理解していただくような対応を」といった意見があり、これらを踏まえ、引き続き保護者や関係者の方々に統合に対する考え方、必要性について、さらにご理解いただくよう対応していくなど、3中学校の統合に向けて、今後も努力していきたいと考えます。

#### その他の質問事項

- 農業振興地域整備計画の見直し

## 柿岡中学校の改築事業と

### 中学校の統合について

## 友好都市について

宮城県多賀城市との締結を



市 重 谷 つか 塚

**問** 古代において、常陸国の隣国である陸奥国が置かれていた宮城県多賀城市と友好都市を締結してはどうか。共にかつて国府が置かれたことから歴史的共通点があり、旧石岡市のときから市民レベル、あるいは行政関係者による相互の交流を図ってきたと聞きます。私はこの歴史のまち、石岡の文化財や史跡等を保護・活用すること、歴史に誇りを持つことが、これからの石岡のまちづくりの一環だと思います。この石岡市における文化財、歴史的遺産はどこにもあるものではない、石岡市だけのものであって、先人達の歩んだ歴史的遺産を大切にふる郷土愛、

**答** 誇れる自然の資源を、再度、認識すべきと考えます。そういう中、多賀城市との友好都市は、これからの歴史的な石岡市のまちづくりに大変役立つ、大切なことだと考えます。互いに交流をする中、今、両市の機運が熟している時期だと感じます。友好都市締結についてどのようにお考えか伺います。

●その他の質問事項  
石岡市の結婚対策



工 佐 野 の 岡

**問** 八郷地区の原材料支給による道路改良について、平成17年度は71件、総延長が7733メートルであったものが、平成22年度は2600メートルと半分以下になっています。財政事情等により道路改良を要望しても、なかなかやっていただけない中、地元集落のことであり、協働のまちづくりとして地区の住民が労力奉仕で、4メートル未満の道路について原材料支給による道路改良を行っています。今後の取り組みと、予算増額の考えについて伺います。

## 原材料支給による道路行政について

**答** 原材料支給によるコンクリート舗装については、各地区からの強い要望と協力体制のもとに行われており、整備の必要性は感じますが、一方で作業時における安全面などの問題もあります。石岡地区では、4メートル未満の道路であっても、アスファルト舗装で対応していた経緯があり、一方、八郷地区では原材料支給、いわゆる坂道舗装として、地元の方々のボランティア活動によって4メートル未満の道路の整備が進められてきたという2つの経緯があります。合併後5年が経過し、制度的な統一を図ることも必要と言われる中、要望はわかりますが、今後、そういう点を制度として、どう整理していくのか、こういった形で残すことがいいのか、少し時間をいただいで検討していきたいと思っています。

●その他の質問事項  
水田農業について

## 防災の態勢について

住民のための防災のあり方を



昭 関 せき

**問** 住民から見た防災（防水）計画として、実際に水害が起きる山王川・恋瀬川ハザードマップの作成について。また情報収集体制の整備として、現状が直ちに把握できるよう、例えば特定の住民に依頼してはどうか。住民への連絡も、区長などへ直接電話して地区への周知をお願いできないか。また避難態様として、避難準備・勧告・指示等の基準を明確にすべきと思いますが、どうお考えか伺います。災害はいつ起きてもおかしくありません。もう少し危機意識を持つて、現実に対応した住民のための防災のあり方を真剣に検討して欲しいと思います。

**答** 河川のハザードマップは、所管する県が河川を指定した段階で作成したいと考えます。情報収集については、インターネット等の防災情報、県からの情報、雨量や河川水位、気象レーダー等を参考にし、事態の急速な悪化に備えるとともに、発生後は住民からの通報、消防や防災機関からの情報などを総合的に判断して迅速に対応できる体制づくりに努めています。住民へは、広報車や消防による広報、水防信号の吹鳴等、併せて八郷地区は防災無線により伝達しています。避難態様として、災害対策本部で災害事象の特性や気象情報等、収集した情報を迅速かつ的確に判断し避難勧告等を発令するとともに、指定避難所等を開設し受け入れ態勢を確保します。

●その他の質問事項  
合併処理浄化槽  
国民健康保険



いけだまさふみ  
池田 正文

**問** 過日の大雨を踏まえ、市内各地の道路冠水や浸水災害等の危険箇所について伺います。併せて、今後の災害対策について伺います。また、消防防災GISについて、これはデジタル化された地形図、写真などに様々な情報を重ね合わせて表示・分析するシステムで、現在は雨量情報も提供されています。このシステムを活用し災害を予測することで、迅速・的確な対応が可能になると思いますが、見解を伺います。併せて、停電等による機器の不具合に備え、住民への情報提供のための独立したシステムが必要と思いますが、どうお考えが伺います。

## 災害対策について

消防防災GISを活用しては

**答** 危険箇所として、霞ヶ浦浸水想定区域のほか、道路冠水箇所として石岡地区で10か所、八郷地区で5か所。また、土砂災害等危険箇所が市内105か所あり、これら危険箇所への防災対策として、ハザードマップや防災訓練、地区説明会などで住民への周知を図り、被害の軽減に努めたいと考えます。議員ご提案の消防防災GISについては、災害に対する住民の意識を高めるため、今後、このような防災情報の有効利用を啓発したいと思えます。システムについては、先の災害での一番の教訓であり、切実な問題として捉えており、庁内のサーバーを介さず直接使用できるインターネットの導入を図りたいと考えています。

●その他の質問事項  
画 友好都市●地域福祉計画



まへしまたかもと  
前島 孝元

**問** 水道行政の統合について、水道事業準備委員会の結論はどうなったのか。統合には料金の問題や、湖北水道など相手方との調整が必要になると思いますが、あと何年ぐらいで統合を行うのか伺います。また、八郷地区の漏水対策について、現在緊急的、臨時的な措置かと思えますが、抜本的な対策はどうするのかが伺います。また市の組織について、三村簡易水道は環境対策課、八郷地区水道は水道課の管理ですが、組織を一本にして、効率的な運営をすべきだと思いますが、どうお考えが伺います。

## 水道事業の統合と料金格差について

**答** 統合準備委員会の検討結果は、第1段階として、三村地区簡易水道事業は、老朽施設の更新と国庫補助の条件から、平成28年度に湖北水道との事業統合を目指すというものです。現在、国庫補助で施設整備を進めており、この完了に合わせ、湖北水道との統合を行う予定です。料金は統合を考慮し、28年度までに同料金になるよう段階的な改定を行いたいと考えています。今季の八郷地区水道は、井戸の浚渫・改修、湖北水道と管を接続した成果、ポンプ圧の見直し等により漏水にならなかつたと思えます。また対策の一つとして、地下水規制外の沢水・湧き水等の水源調査を実施しています。組織は一本化すると、水道課のある八郷地区から三村地区まで、緊急時の移動に支障を来すことから、現行のままがいいのではないかと考えています。

●その他の質問事項  
●農業集落排水事業●地デジ難視聴地区への対応



たかの  
高野 要

**問** 駅前・東ノ辻線の整備は、今のままだと完成に、あと30年かかります。そんなに待つてはいられない。そこで、この道路周辺の整備をお願いします。この地域は、狭い道路と雨水排水の流末が十分ではないところ。しかし、石岡の未利用地の中で、これほどいい土地はありません。私は、今すぐに素晴らしいものにしてくださいとは言いません。徐々に、一歩ずつ構いませんから、まずは車がすれ違うための待避道路と、側溝の流末の確保を。将来、石岡の顔となる駅ができたとき、今、手を加えることで、東口にすばらしい土地としてよみがえります。この地域の整備について、どうお考えが伺います。

## 道路行政について

駅前・東ノ辻線周辺地域の整備を

**答** 駅前・東ノ辻線は、当市において骨格をなす重要な幹線道路と認識します。そのため、国の交付金などを活用し、着実に整備を進めることとしています。現在、一部区間に歩道がないなど、交通安全確保の観点からも早急に整備が必要な、市役所前通りからの約200メートル区間について、優先整備区間として事業を進めているところです。また、周辺道路の整備や流末の調整池の整備も、この地域の重要な課題と認識します。当面は、この地域で生活する方々のため、側溝清掃などで対応したいと考えています。今後は、議員ご指摘のように、一歩一歩確実に道路の拡幅、雨水整備計画など、本線の整備と併せながら、その整備に当たっていきいたいと考えています。

●その他の質問事項  
●保育士の採用●駅周辺整備事業他

## 広域合併について

石岡から次の合併を



あきら 山口 ぐち やま 山

と考えます。市長は、次はどのような合併を望んでいるのか、また、まちづくり構想について伺います。

**問** なぜ毎回のよう合併問題をとり上げるのかと言いますと、私は、歴史と文化の中核都市石岡を指すには、この石岡から次の平成の大合併を進めることが大切であり、そうすることが現在の日本を変えることだと考えるからです。私は、日本が変われば世界も変わると信じています。市長は、今は現在の石岡市のまちづくりが大切だ、と言います。私も確かにその通りだと思えます。しかし、将来、これからの時代、その次のことを考えたときに、やはり今の8万都市では、全国の中で石岡市がなくなってしまう。だから将来に向け、どうしても合併が必要になる

**答** 私の合併に対する考えというものは、いまだ変化がありません。したがって、現在、合併後の地域の均衡ある発展を目指し、国や県の合併支援措置を活用しながら、各種の事業に取り組んでいるところです。このような状況から、現時点においては、新市の一体性の確立と地域の均衡ある発展を優先し、当市の着実なまちづくりを進めていきたいと、このように考えます。



●議案第71号

## 石岡市学童保育事業条例の一部を改正する条例を制定することについて

**問** 今回実施予定の高浜小・三村小・園部小・東成井小の4校は、希望者が定数

を超えず、スペースが確保できており、10月1日から実施したいと考えます。石岡小など10校はスペースが確保されるので、今年度から来年度で実施、府中小・東小・南小・恋瀬小・小桜小の5校はスペースが確保できないので、23年度中に専用施設を建設し実施したいと考えます。指導員は、全校実施時には150人程度必要となるので、新たに60人ほど確保したいと考えます。採用には教員免許や保育士等の免許所持者が望ましいですが、そういう方ばかり採用できる状況ではないので、できる限り経験者の方を採用していきたいと考えます。滞納世帯でも、現在は受け入れていますが、子ども手当の支給日に合わせて、負担金の納入相談通知の発送等の準備をしています。

●その他の質問事項  
●専決処分 ●一般会計補正予算

## 専決処分に対し承認を求めることについて 平成22年度石岡市一般会計補正予算（第2号）

●議案第48号

### 小松 美代子

**問** 今回の補正は、7月25・26日の集中豪雨対策のための予算であることから、市長の専決に値する補正予算だと認識します。今回の集中豪雨により甚大な被害が生じましたが、想像を超える雨量に対する都市基盤の脆弱さが明らかに、改めて都市基盤の整備を考えていかなければならないと思います。本市はかねてから公共施設に雨水を地下にためる貯水槽を造ってききましたが、併せて個人宅にも雨水タンクを設置するなど、一気に雨水が流れるのを防ぐ手だてが必要だと思えますが、今後の対策についてどうお考えか伺います。

**答** 現在、被災箇所の早期復旧に向け、作業を進めています。道路や側溝、水路等の改修は、年次計画の中で取り組んでいきたいと考えます。また、ため池等の整備も必要と考えます。今回、雨水や災害に対する都市基盤の立ち遅れというような指摘を受けていますが、そういう中、予算もありませんが、少しずつでもその改善に努めていきたいと考えます。また、貯水槽については、以前から公共施設の整備に際し併設してきた経緯もありますので、今後とも予算の範囲内になるかと思いますが、設置をしていきたいと考えます。

●その他の質問事項  
●一般会計補正予算 ●下水道事業特別会計補正予算 ●学童保育事業条例 ●市道の変更

高野 要

**問** 補正予算のうち、公金収納情報データ処理委託料について、市が継続して行ってきた業務は、年度半ばに補正で改めるべきではないと考えます。今回、補正予算が組まれることは、相当なメリツトがあると推察します。そこで、この外部委託による人員削減等の行政効果について。委託する業務の内容がどう変わるのか。なぜ年度半ばで補正を組んで行わなければならないのかについて、伺います。また、道路維持費の道路等補修工事費について、道路は穴をあけておけません。絶対に措置しなければなりません。年度半ばの今の時期に補正を要求する理由を伺います。

**答** 公金（市税・国保税・

●議案第49号

平成22年度石岡市一般会計  
補正予算（第3号）について

介護保険料等）収納情報データ処理業務を委託すること、市民サービスの向上と業務負担の軽減並びに効率性を高めます。メリツトとして、①事務量の軽減により、人員削減等の行政効果が期待できる。②処理日数が1、2日程度短縮される。③納税状況等の即時検索が可能になる、等があります。補正で実施する理由として、良いことは即時にという考えから。また実施時期については、4月は窓口の繁忙期のため、1月からの実施を考えています。道路維持費については、年度当初からの天候不順等により修繕箇所が多く、上半期で当初予算の85%を発注し、また、7月下旬の豪雨などで、管理上、機能上、早い時期に手当てしたほうがよい箇所もあることから、今回お願いするものです。

請願 & 陳情

平成22年 第3回  
定例会で議題とし、  
委員会へ審査を付  
託した請願・陳情

\*\*\*\*\*  
総社一丁目地内の排水路  
改修に関する陳情

**要旨** 当地区の排水路について、衛生上の問題や、転落などの危険性があることから、安全で快適な生活ができるよう蓋がけ等の改修を要望します。  
**都市建設委員長報告の要旨** 現地で排水路の状況を確認し、委員全員が改めて安全対策の必要性を強く感じました。その後の

審査で、改善策（フェンスの設置・蓋がけ）が提案され、また、既設のU字溝のままで蓋がけが可能とのこと、採決では全会一致で採択すべきものと決しました。  
**審査結果 採 択**

\*\*\*\*\*  
「子宮頸がん」の予防対策に関する陳情

**要旨** 「子宮頸がん」はワクチンにより予防ができる唯一の「がん」であることから、将来ある児童・生徒が、安心して生活できるようワクチン接種の支援策を、早急に確立するよう要望します。  
**教育福祉委員長報告の要旨** 審査では、「がんの予防は本人だけでなく、その家族も救われる。」「国・県の動向にかかわらず、すぐにでも接種計画を立てるべき。」といった意見が出され、その後の採決では、全会一致で採択すべきものと決しました。

**審査結果 採 択**

意見書

第3回定例会で可決し、関係機関へ送付した意見書は次のとおりです。

子宮頸がんの予防措置実施の推進を求める意見書

**【要旨】** 子宮頸がんがワクチン接種と予防検診により発症を防ぐことが可能であることを認識し、予防ワクチン接種の実施の推進等を強く要望する。

送付先：内閣総理大臣・厚生労働大臣

完全な地上デジタル化放送の実施に向けて円滑な移行策を求める意見書

**【要旨】** 完全地デジ化に向けて移行が円滑に進める取り組みについて、必要な予算の確保と、施策の実施を強く要望する。

送付先：内閣総理大臣・総務大臣・環境大臣

21世紀型の公共投資の推進による景気対策を求める意見書

**【要旨】** 必要な公共投資は着実に推進すべきであり、地方経済の活性化も大いに見込める。地方の雇用拡充と内需振興を図るため、真に必要とされる21世紀型の公共投資について、予算確保と執行を強く求める。

送付先：内閣総理大臣・文部科学大臣・厚生労働大臣・経済産業大臣・国土交通大臣

家電エコポイント制度の再延長並びに住宅エコポイントの延長を求める意見書

**【要旨】** この2つの制度は、地球温暖化対策を進め、環境負荷の少ない低炭素社会への転換を図りながら、景気刺激策として経済の活性化にも大きな効果を発揮している。景気回復に向けて重要な局面に差しかかっていることを十分に認識し、今後も経済の押し上げ効果がある両制度の延長を強く要望する。

送付先：内閣総理大臣・総務大臣・経済産業大臣・国土交通大臣・環境大臣

# 常任委員会の活動

●石岡市議会には、4つの常任委員会が置かれています。委員会は、それぞれ担当する部門をもっていて、それぞれが、市の業務内容の調査や、議案と請願・陳情の審査などを行っています。ここでは、各委員会の活動内容をご報告します。

## ●総務企画委員会

### かしてつバス運行事業について

9月9日の委員会において、執行部から8月30日に運行が始まりました。かしてつバスの実証運行状況について報告がありました。

委員からは、かしてつバスの運行のあり方について審議する「かしてつ沿線地域公共交通戦略会議」に市議会議員が加わり、地域の意見がより反映できる体制にしてほしい旨の強い要望が出されました。

また、今回補正予算として、かしてつバスの発着場を暫定的に石岡駅西口バスターミナルとしたことにより、バスが常磐

線踏切を横断すること、さらには踏切と交差点が近いこと、加えて実証運行中の高密度運行の安全確保を図るため、保安員を常駐させる経費等に国の補助金を充当する予算が計上されましたが、当委員会では、その必要性を認め、全会一致をもって可決しました。

## ●教育福祉委員会

### 東小学校校舎改築事業について

8月20日に開催した委員会では、7月末に竣工した東小学校新校舎の現地調査を実施しました。新校舎は、鉄筋コンクリート造3階建て、普通教室20室のほか、特別教室が配置され、さらに太陽

光発電設備を設置し、環境教育への活用も図られています。

委員からは、旧校舎に設置されたままになっているAED（自動体外式除細動器）を新校舎に至急設置すべきであるという意見、太陽光発電設備を設置する等の環境への配慮については、今後の学校建設にも役立ててもらいたいという意見等が出されました。

当委員会として、今回の現地調査の結果を踏まえ、特に校舎の安全面について再確認され、万全に対応されるよう要望しました。

## ●市民経済委員会

### ふれあいの森遊具施設の

### 事故防止策について調査

当委員会は、去る8月9日にふれあいの森にある遊具施設の事故防止策について調査を実施しました。

現地調査に先立ち、防止策の内容について説明を受けました。その内容は、①ゴール手前で減速を呼びかける注意喚起のアナウンス設備を設置したこと。②ゴール付近のベンチ等を撤去し防護柵を設置したこと。③スタート前のブレーキ操作及び制動の確認を徹底させること。④ゴール地点に配置した職員により確実に停止させること。⑤万一の利用客の怪我に備え、職員への応急処置の指導をするというものです。



続く現地調査では、アナウンス設備や防護柵などの設置状況を確認した後、委員が実際にスコーツライドを試乗し、その安全性や乗車中の職員の対応について調査しました。

その後の会議において、委員からの、注意喚起のアナウンス設備の音量が小さく聞こえにくいとの指摘に対し、執行部からは、乗車中でも聞こえるよう対応したいとの答弁がありました。また、コース途中の危険箇所を知らせる黄色回転灯の数が少ないとの指摘には、施設側と話し合い増設の方向で対応していきたいとの考えが示されました。さらには、新たに設置した防護柵は、造りが華奢であり、万一の事故により利用客が飛ばされた際に対応できるか心配であるなどの意見のほか、今後は十分に注意を喚起し、事故が起きないように努力して欲しいとの要望が出されました。

## ●都市建設委員会

### （仮称）八郷・新治線道路整備事業について

7月20日に開催した委員会では、（仮称）八郷・新治線（朝日トンネル）整備事業について調査を行いました。この事業は平成18年11月に合併市町村幹線道路緊急整備支援事業の指定を受け、平成19年度より本格的な事業化となりました。事業の概要は、土浦市小野地内・石岡市柴内地内まで全体延長3660メートル（石岡工区は2023メートル）、総事業費が約65億円（同約35億円）、トンネル延長が1784メートル（同1052メートル）で、全幅7.5メートルの2車線（片側1車線）となります。執行部からは「現在、トンネル本体の掘削工事に着手しており、今年度中にトンネルを貫通させ、平成24年度の供用開始を目指しています。」との報告がありました。